

別添 これまでの測定結果

(1) 敷地境界の空間放射線量

(単位：マイクロシーベルト／時)

施設名等 測定日	埋立処分施設		中間処理施設
	エコシステム花岡	グリーンフィル小坂	エコシステム秋田
平成30年2月16日		0.02～0.03	
平成30年1月19日		0.02～0.03	
平成29年1月～12月		0.02～0.05	
平成28年1月～12月	0.03～0.06	0.02～0.06	0.02～0.07
平成27年1月～12月	0.02～0.06	0.01～0.06	0.02～0.07
平成26年1月～12月	0.02～0.05	0.02～0.05	0.03～0.06
平成25年1月～12月	0.03～0.05	0.02～0.05	0.03～0.07
平成24年1月～12月	0.02～0.05	0.02～0.06	0.02～0.07
平成23年7月～12月	0.03～0.05	0.03～0.05	0.03～0.06

(2) 放流水の放射性物質濃度

(単位：ベクレル／リットル)

施設名等 採取日	埋立処分施設				中間処理施設	
	エコシステム花岡		グリーンフィル小坂		エコシステム秋田	
	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム
平成30年2月16日			不検出	5.5		
平成30年1月19日			不検出	6.8		
平成29年1月～12月			不検出	3.5～6.7		
平成28年1月～12月	不検出	不検出	不検出	3.9～7.4	不検出	不検出
平成27年1月～12月	不検出	不検出	不検出	1.7～5.8	不検出	不検出
平成26年1月～12月	不検出	不検出	不検出	1.1～4.9	不検出	不検出
平成25年1月～12月	不検出	不検出	不検出	0.87～3.4	不検出	不検出
平成24年1月～12月	不検出	不検出	不検出	1.2～4.2	不検出	不検出
平成23年7月～12月	不検出	不検出	不検出	2.3～3.6	不検出	不検出

(3) 排水汚泥の放射性物質濃度

(単位：ベクレル／キログラム)

採取日	施設名等	埋立処分施設				中間処理施設	
		エコシステム花岡		グリーンフィル小坂		エコシステム秋田	
		放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム
平成30年2月16日				不検出	20		
平成30年1月19日				不検出	18		
平成29年1月～12月				不検出	11～20		
平成28年1月～12月	－ ※	－ ※	不検出	不検出～29	不検出	不検出	不検出
平成27年1月～12月	－ ※	－ ※	不検出	不検出～28	不検出	不検出	不検出
平成26年1月～12月	不検出	不検出	不検出	10～29	不検出	不検出	不検出
平成25年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出～23	不検出	不検出	不検出
平成24年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出～19	不検出	不検出	不検出
平成23年7月～12月	不検出	不検出	不検出	8.5～11	不検出	不検出	不検出

※ エコシステム花岡の排水汚泥は、設備改修により発生しなくなったため、平成26年11月から調査を中止している。

(4) 地下水の放射性物質濃度

(単位：ベクレル／リットル)

採取日	施設名等	埋立処分施設			
		エコシステム花岡		グリーンフィル小坂	
		放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム
平成30年2月16日				不検出	不検出
平成30年1月19日				不検出	不検出
平成29年1月～12月				不検出	不検出
平成28年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
平成27年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
平成26年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
平成25年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
平成24年1月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
平成23年7月～12月	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

(5) 河川水

(単位：ベクレル／リットル)

採取日	小坂川	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム
平成30年2月16日	不検出	不検出
平成30年1月19日	不検出	不検出
平成29年1月～12月	不検出	不検出
平成28年1月～12月	不検出	不検出
平成27年1月～12月	不検出	不検出
平成26年1月～12月	不検出	不検出
平成25年1月～12月	不検出	不検出
平成24年3月～12月	不検出	不検出

※ 平成27年3月まで山崎橋で検体を採取していたが、通行不可となったため、平成27年4月から、約50m下流の新山崎橋で採取している。